



飛鶴の森林から

発行日
2013年5月31日 第75号

林野庁 北海道森林管理局
釧路湿原森林ふれあい推進センター

森林環境教育

5月22日、標茶町立中茶安別小中学校の学校林「るんるんフォレスト」で、

春の「るんるんフォレスト」 標茶町立中茶安別小中学校

全校児童生徒26名が参加して「春の学校林活動」が行われ、当ふれあいセンター職員と根釧西部森林管理署真竜森林事務所森林官、標茶森林事務所職員の6名が講師として参加しました。

始めに、昨年の秋の活動で設置した積雪対策の支柱と野ネズミ対策の器具の撤去作業を全児童で行い、その後、小1～4年生と小5～中学生までのグループに分かれて、それぞれの活動を行いました。低学年グループの活動では、今年初めての学校林活動であること、また、1年生は初めての参加であることから、ワクワク感を感じてもらおうと「コウモリとガ」というネイチャーゲームを行い、これを通じて、食物連鎖やよく聞くことの大切さ、集中力についても学びました。



▽「コウモリとガ」の様子



▽ 高学年のまとめの様子



また、「森林のおいたち」や「森林のほたらき」等をパネルを使用して説明し、子どもから、「木が私たちの生活の中でいるなものに使われていることがわかった。」「これからも、ずっと森林を大切にしていかなければならないと思った。」「などの感想が出されていました。」
一方、高学年グループでは、「樹木を測って樹木炭素量を調べよう」と題し、測高器（木の高さを測る器具）、輪尺（木の太さを測る器具）を使って、カラマツとミズナラを測り、樹木の炭素貯蔵量について調べました。時間の関係で炭素貯蔵量の計算まで至りませんでした。網倉所長からまとめとして、地球温暖化や二酸化炭素と植物の関係等の話がありました。
今年春の訪れが遅く、あまり春の季節感を感じてもらえなかったかもしれませんが、8月に実施される夏の学校林活動に向けて学校と連携し、さらに充実した活動になるように、取り組んでいきたいと考えています。



▽ 測樹の様子

自然再生・生物多様性の保全

野生生物生息調査の速報

当ふれあいセンターでは、パイロットフォレスト及び雷別地区自然再生事業地で、野生生物の生息状況を把握するため「野生生物生息調査」を実施しています。この調査は、自動撮影カメラを使用し、7月期と9月期の年2回実施していますが、この度は、アメリカミンクの生息状況を把握するため、5月に別寒辺牛地区で試みました。
アメリカミンクは、昭和3年（1928年）頃から、毛皮をとる目的で北海道に持込まれ、繁殖されていきましたが、昭和35年頃から（1960年）、逃出した個体が野生化した個体（小型の雑種やタンチョウの雛を捕食し、問題となっ）ています。現在、調査結果をまとめています。

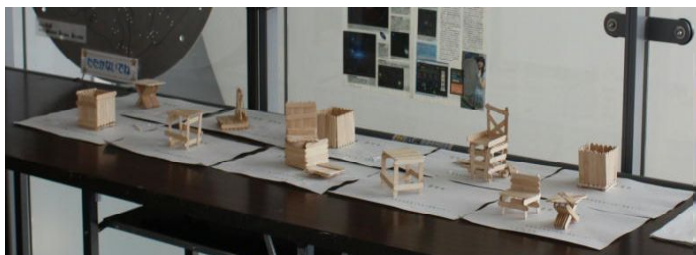


▽ 24年9月に撮影されたミンク

昭和3年（1928年）頃から、毛皮をとる目的で北海道に持込まれ、繁殖されていきましたが、昭和35年頃から（1960年）、逃出した個体（小型の雑種やタンチョウの雛を捕食し、問題となっ）ています。現在、調査結果をまとめています。



▽「アイスの棒deクラフト」の様子



▽ 完成した作品の様子



▽「つみつきーで遊ぼう！」の様子

釧路市の社会教育施設「釧路市こども遊学館」で、4月27日、5月6日にかけて、ゴールデンウィーク恒例のイベント「木のおもちやであそぼう！」が開催され、釧路市内をはじめ近郊から、多くの子どもたちが来館し、木製の遊具で遊んだり、木工作を行ったりと木とのふれあいを楽しんでいました。

当ふれあいセンターでは、5月5・6日の両日に「アイスの棒deクラフト」と題して、アイスキャンディーで使用される握り棒を材料に、工作教室を開催しました。

「木のおもちやで遊ぼう！」 こども遊学館GWイベント

2日間、親子連れや子ども同士など、小学校低学年を中心に、約120名の参加があり、アイスの棒を接着させるのに苦労しながら、ミニチュアのテーブルや椅子など、思い思いの工作に挑戦していました。

参加した子どもからは、「ちょっと難しかったけれどまた挑戦してみたい。」ととても楽しかった。「ななど、大変好評でした。」

また、この期間中は「つみつきーで遊ぼう！」と題して、マッチ箱程度の木片の積み木を提供し、会場では子どものみならず、一緒に来た大人も積み木遊びに熱中している様子が見られ、親子で楽しい一日を過ごしていました。

「ホームページのご案内」

当ふれあいセンターでは、ホームページを開設しており、森林環境教育の支援状況やボランティアの活動状況、イベント開催予定等の情報を提供しています。

ホームページアドレスは下記のとおりとなっておりますので、是非、ご覧下さい。

「お庭で苗木育成」ボランティア募集

森林再生活動で植樹する広葉樹の苗木を育てていただく、「お庭で苗木育成」のボランティアを募集しています。

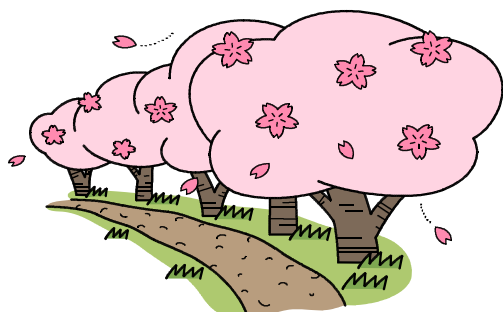
釧路市及びその近郊にお住まいの方で、自宅の庭で3年程度、育てていただくこととなります。詳細は、当ふれあいセンターまで、お問合せ下さい。

「雷別ドングリ倶楽部」会員募集

「雷別ドングリ倶楽部」では、自然再生をボランティアで行う会員を随時、募集しています。年会費等は不要ですが、活動するに当たり、傷害保険へご加入いただくため、その費用が必要です。詳細は、当ふれあいセンターまで、お問合せ下さい。

6月の予定

- * 6月8日（土）釧路市こども遊学館 くしろエコ・フェア2013
- * 6月19日（水）雷別地区国有林 第1回 雷別ドングリ倶楽部



国民の森林・国有林

釧路湿原森林ふれあい推進センター

〒085-0825 北海道釧路市千歳町6番11

【IP】050-3160-5787 【TEL】0154-44-0533 【FAX】0154-41-7305

【E-mail】h_kusiro_f@rinya.maff.go.jp

【URL】http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html

当ふれあい推進センターは、国有林をフィールドとして、北海道の多様な自然との共生に向けた自然再生活動に取組むNPO等の活動支援、森林環境教育等に携わる教育関係者の支援・技術指導等を行っています。